

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告の趣意は、憲法違反をいうが、刑訴法三一三条による併合請求却下決定のように、訴訟手続に関し判決前にした決定は、同法四三三条一項にいう「この法律により不服を申し立てることができない決定」にあたらぬのであるから、本件抗告は不適法である。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四六年一二月一八日

最高裁判所第二小法廷

| | | | | |
|--------|---|---|---|-----|
| 裁判長裁判官 | 岡 | 原 | 昌 | 男 |
| 裁判官 | 色 | 川 | 幸 | 太 郎 |
| 裁判官 | 村 | 上 | 朝 | 一 |
| 裁判官 | 小 | 川 | 信 | 雄 |